

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	くら・らぼ神辺児童発達支援事業所		公表日	令和 8年 2月 21日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		通所人数によっては、部屋が狭く感じることある。パーティション等を利用して安心できる空間を確保していきたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	定員に対しての配置基準は満たしている。活動内容を工夫や利用児の状況に合わせて職員同士声を掛け合っていきたい	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	必要に応じてパーティション等を利用し、構造化して環境の工夫をする。利用児にわかりやすい環境の工夫をする。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日清掃し清潔が保たれるようにしている。子ども達が心地よく過ごせるよう衛生面に配慮し、環境整備や遊びの空間の工夫を行う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	建物の造り上個別の部屋はないが、パーティション等を使ってスペースを作っている環境的に難しいがやむを得ずの場合は事務室を利用している	パーティション等を使用して環境の工夫をしていく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		職員会議、日頃からのヒヤリハットを通して情報共有し具体的な業務改善に向けて努力する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		新規事業所ということもあり今回から、評価を行っている。今年度初めての機会となり業務改善につなげていきたい	保護者の意見を職員間で共有し、現状の見直し次年度への取り組みに活かしていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日の朝礼、夕礼での意見交換を行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		保護者だけではなく並行先の先生の話しの元作成をしている。	個別懇談等で保護者の話しを聞き、子どもと保護者のニーズや療育の様子を考慮して計画を立てるように努める。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		児発管だけでなく、クラス担任はもちろんフリー職員の意見をふまえて作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		いつでも全職員が確認できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		全職員のアイデアの元立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		全職員のアイデアの元立案している。全体のバランスを見ながら立案している。	様々な体験を児童発達支援ガイドラインに示されている5領域の視点をふまえて実施する。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		それぞれの発達に合わせて個別と集団をわけている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		全職員で毎朝行っている。 職員朝、夕礼にて打合せをし共通理解をはかっている	引続き職員朝礼にて職員全体で活動内容や職員配置について確認していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		毎朝行っている（全職員で）	引続き職員朝礼、夕礼にて次の療育へつなげていけるよう振り返りを実施していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々の記録は必ず残している。	引続き業務日誌に記録することを徹底し支援の検証、改善に努めていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的に行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		併行先や関係機関との連携を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		併行先や他事業所など定期的に情報交換を行っている。	関係各機関と引続き定期的に訪問、電話等での情報共有を積極的に行う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		就学先へは連携文を提出させてもらう予定。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3		児童発達支援センターからの助言を受ける機会を設けていないが、児発連の研修会等に積極的に参加することでスキルアップにつなげたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	弊社内の小規模保育所との交流がある。 会社内の小規模保育所と定期的に交流を図っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		毎日の様子を連絡ノートで伝えたり、送迎時に伝えたりしている。 ラインや連絡帳にて連絡している。	連絡帳や懇談、参観日を通して共通理解が持てるように取り組む。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	来年度から実施していきたい。	家族が参加できる研修会は実施できていない。今後どのような形でできるか検討する。研修会開催の情報提供をしていきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		自宅の様子など聞き取り保護者の方と一緒に作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		ラインや電話いつでも対応できるようにしている。 個人懇談、ライン、送迎時に実施している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	保護者会はないが、キャンプ、遠足、参観日で交流に力を入れている。	地域の交流会や研修会等があれば情報提供していく。 保護者の交流の場を引続き定期的に開催する
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月のクラスだより、SNSなど	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		SNSなど特に注意している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		周年祭、もちつきなど、神辺地域とも交流したい	地域の清掃への参加や日頃からの近隣の方への挨拶をすることで地域住民の方に認識していただけるよう工夫する。 町内会長とは連携している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			保護者が事業所で実施されているかどうか認識
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		神辺だよりにて周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		全職員が見れる	引続き、ヒヤリハット事項の共有をし職員全体の意識を高める。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的実施している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			身体を押さえる、移動を室内に制限する、身体拘束のとらえ方を職員全体で確認したり、日常的な関わりの中で、適切であるかどうかを確認する。	